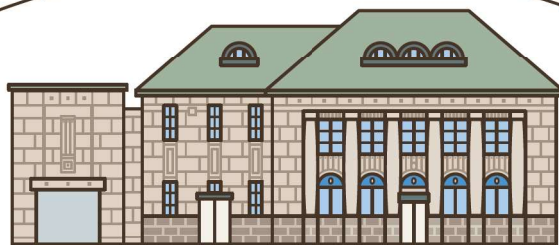


倉敷市を
応援!

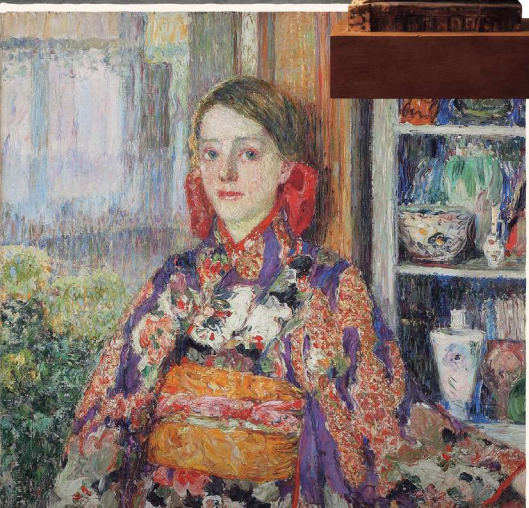
倉敷市
企業版ふるさと納税
を活用した

児島虎次郎記念館



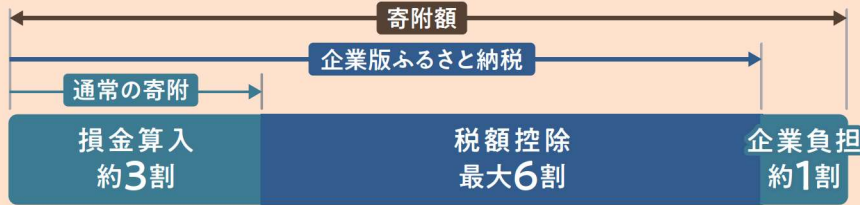
整備応援 プロジェクト

Support Project for
Kojima Torajiro Memorial Hall



倉敷市の「企業版ふるさと納税を活用したまちづくり中核拠点整備事業」に 大原美術館が採択されました！

倉敷市 企業版ふるさと納税とは



寄附に対して、
最大約9割の
税負担の軽減が
受けられます。

例 1,000万円寄附すると、最大約900万円の法人関係税が軽減

①法人住民税

寄附額の4割を税額控除。(法人住民税法人税割額の20%が上限)

②法人税

法人住民税で4割に達しない場合、その残額を税額控除。ただし、寄附額の1割を限度。(法人税額の5%が上限)

③法人事業税

寄附額の2割を税額控除。(法人事業税額の20%が上限)

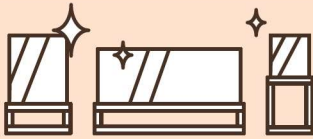
※税額控除の手続(申告)や算出に関しては税理士や所管する税務署へご相談ください。

倉敷市以外に本社のある法人が
本事業に寄附をしていただくと、寄
附額の約3割の損金算入による軽
減効果に加え、寄附額の最大6割
が税額控除されることにより、実質
的な企業の負担が約1割まで圧縮
されます。

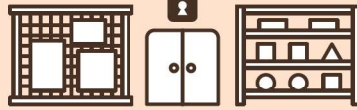
「企業版ふるさと納税を活用したまちづくり中核拠点整備事業」制度の概要

企業版ふるさと納税を活用し、地域の魅力向上や賑わい創出にむけた中核拠点を整備する民間事業者を支援する制度です。倉敷市最大の観光エリアである美観地区内に整備された中核拠点を中心に、回遊性の向上や周辺への波及効果を高めることで活力あるまちづくりを目指します。

児島虎次郎記念館グランドオープンに向けた具体的な整備支援内容



展示設備の整備



収蔵庫の整備



倉敷美観地区関連施設への
波及のためのサイン類の整備

企業様のメリット



地域貢献 (SDGsの達成)

- ・寄附をいただいたことを倉敷市ホームページ等でご紹介します。
- ・地域貢献を行う企業としてイメージアップに繋がり、PR効果も期待できます。



パートナーシップの構築

倉敷市と新たな関係を構築することで「地域資源を活かした新事業展開」などにつながる事が期待できます。

倉敷市への寄附手続き

ご相談・お申し出

企業様のご意向に沿って寄附対象事業の確認を行います。

寄附

「納付書」又は「口座振込」により寄附の払い込みをお願いいたします。

税申告のお手続き

倉敷市で受領証を発行いたしますので、税務署での税申告の手続きをお願いいたします。

申込受付期間

2024(令和6)年4月1日~2025(令和7)年1月末

寄附に関するお問合せとお申込み先

倉敷市企画財政局企画財政部財政課

TEL 086-426-3155 FAX 086-426-5131

E-mail fnce@city.kurashiki.okayama.jp

<https://www.city.kurashiki.okayama.jp/29443.htm>

事業に関するお問合せ

公益財団法人 大原美術館

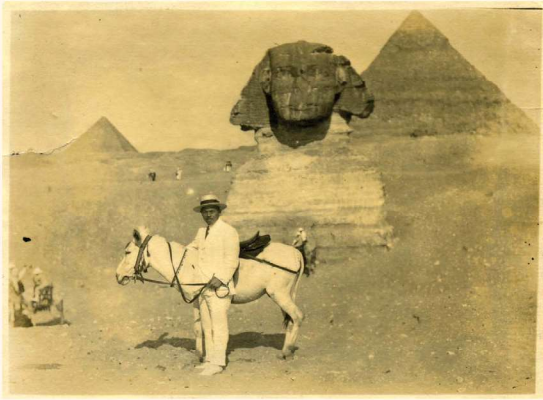
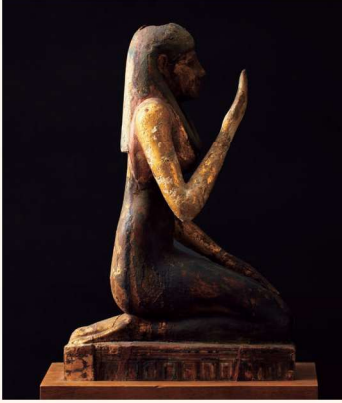
(児島虎次郎記念館グランドオープンプロジェクト)

TEL 086-422-0005 FAX 086-427-3677

Email info@ohara.or.jp <https://www.ohara.or.jp/>

2024年4月1日~公益財団法人大原芸術財団に変更

児島虎次郎と 古代エジプト・西アジア美術コレクションについて



児島虎次郎、エジプトにて

敏腕の実業家でありながら、志高き社会事業家として名を遺した大原孫三郎。本場フランスで認められ、将来を嘱望された洋画家・児島虎次郎。大原美術館の礎となる美術品の収集は、今から約100年前に「日本で洋画を学ぶ人々のために実物の名画を」という児島の願いに応じて、大原がその財を投じることによりスタートしました。

児島と大原が収集したのは、西洋絵画だけではなくありません。彼らは、ヨーロッパ文化の源泉ともいえる古代エジプト・西アジアの古美術も精力的に収集し、我が国にもたらしました。

これらのコレクションについては、以前からその重要性を指摘する声があがっていましたが、残念ながら十分な学術調査が行われるに至らず、長い間いわば日の目を見ない状態にありました。

このような状況を打開すべく、大原美術館では2010（平成22）年より、外部専門家を招いて約1,300件の総調査を実施しています。調査はまだ途上ではありますが、個々の美術品の重要性や、コレクション全体としての歴史的意義が次第に明らかになりつつあります。また、これに呼応して独自の関心から調査を実施する研究者も多く来館されています。今まさに、研究の輪が広がり、新たな展望が開けつつあります。



倉敷市
重要
文化財



児島虎次郎記念館 外観



児島虎次郎記念館イメージ

プロジェクトについて

百年愛された銀行建築を再生し、洋画家・児島虎次郎を顕彰する
新たな展示・収蔵施設「児島虎次郎記念館」として
2025年3月(令和6年度末)の開館を目指しています。

1978(昭和53)年に開館した旧・児島虎次郎記念館は、児島虎次郎の絵画作品と古代エジプト・西アジア美術品を展示するため、明治期に建てられた倉敷紡績の倉庫をリノベーションしたものでした。しかしながら、建物だけでなく展示ケースなどの設備も老朽化が進み、貴重な文化財を保存・展示するために相応しい環境を継続することが困難と判断し、2017(平成29)年12月をもって閉館しました。

その役割を引き継ぐ施設として、中国銀行より寄贈いただいた建物を、総事業費10億円をかけて美術館施設として再生させようと計画しております。

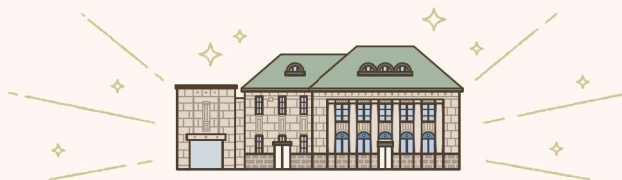
この建物は、大原美術館の創設者である大原孫三郎が第一合同銀行倉敷支店として建設した由緒あるものです。百年の長きに渡り、地域の人々に愛され、今や倉敷美観地区の景観の重要な一部となっています。2025年3月末のグランド・オープンを目指し、2020年に行った第一期工事に続き、残す第二期工事を行い、よりよい作品保存環境と鑑賞環境を備えた美術館施設とすることを目指しています。



洋画家

児島虎次郎

Torajiro Kojima
(1881-1929)



開館のためには、建物内整備資金として3億2000万円が必要です。

ぜひ、「倉敷市 企業版ふるさと納税」をご活用いただき、
大原美術館へのご支援をお願いいたします。